

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第86号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年3月3日 08時45分ごろ	
発生場所	沖縄県名護市 琉球名護港南防波堤灯台から真方位297°6,100m 付近（概位 北緯26°36.5′ 東経127°55.6′）	
事故等調査の経過	平成21年10月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第三十一 <sup>たいしょう</sup> 大昭丸、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	133056、宮崎汽船有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	ビルジキールに擦過傷及び推進器翼に曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、船首約1.8m、船尾約3.4mの喫水で、沖縄県本部町本部港（塩川地区）で着岸作業中、風に圧流され、平成21年3月3日08時45分ごろ、船尾船底が浅瀬に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 5、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、本部港（塩川地区）で着岸作業中、強風に圧流された際の操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が本部港（塩川地区）に着岸作業中、強風により圧流された際の操船を適切に行わなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	